

事

業

報

告



40周年事業

コロナ禍という状況を考え、残念ながら式典などを行う事はできませんでした。

「何か形に残るものを！」と記念誌及び記念品を運営委員会（令和4年1月17日(月)）にてお渡しする事ができました。

お祝いムードを出す為にお花を飾り、ポスターを作り、少しでも「お祝」を感じる事ができました。



おひなさまの会

2月27日(日) 13時～

ロビー3ヶ所に大正・昭和時代のおひな様を飾りました。

利用者の方にも大変好評でした。

来年は沢山の方に見ていただける事を願っています。



井之頭コラム

井の頭の池を囲む台地と神田川源流地域から、縄文の遺跡などが発掘され御殿山1丁目より出土した縄文草創期の土器・石器群が、市の有形文化財に昨年7月に指定されました。これらは国内で2番目に古い約1万6千年前のものと判明。そんな昔からここには人が住んでいたのです。



江戸東京たても園 冬の再現住居

縄文時代の再現住居の多くはカヤ・ワラ屋根です。樹皮を被せ、その上に土をのせ（断熱）草を植えた（土止め）家が「江戸東京博物館」の藤森館長の設計・製作指導のもと新たに作られました。8月の完成当時は「青芝の家」でしたがこの冬には「枯草色の家」に。長毛の大型犬が眠っているような姿です。



御殿山2丁目 初夏の「草屋」

思わず連想したのはジブリの宮崎駿氏が注文した雑草と野芝が植わっている「草屋」。中央線吉祥寺駅から三鷹に向かう駅手前左側に草の繁る屋根が見えます。近年ビル壁面を植物で覆ったり、屋上に庭園を造るのがブームです。屋根を芝で覆う家も増えています。外気温度を植物で遮断すると冬暖かく、夏は涼しく快適に、エコになるそうです。

縄文の知恵は今に続いているのですね！